

RCクロアブロック工法

+

特長

RCクロアブロックはRC構造のプレキャスト部材で、十文字型のクロスタイプと正方形のスクエアタイプがあります。

1 高い機能を提供します

RCクロアブロックは、アンカー荷重や地耐力ごとに対応できる種類、さらに上下もしくは左右20°の角度補正ができる仕様となっているため、さまざまなのり面形状に対応できます。また、各アンカー工法によって異なる頭部形状に対応しているので現場条件に対して最適なアンカー工法を選択することができます。

2 高い品質を提供します

管理の行き届いた工場で製造したプレキャスト受圧板は、均質な製品を提供することができます。さらに高耐力、高耐久性を目指し、コンクリートの設計基準強度 σ_c を40N/mm²としました。

3 施工性の向上に努めます

クロアブロックは現地での養生を必要としないため、グラウンドアンカーの削孔から定着までの期間を短縮できます。従って、逆巻き施工のような切土工を含む工事においては、大幅な工期短縮がはかれます。

4 高い経済性

全国各地に網羅されている供給体制によって、材料費に関わる物流コストの低減をはかっています。材料費、施工性の向上により工期短縮などの総合的な工費縮減に努めています。

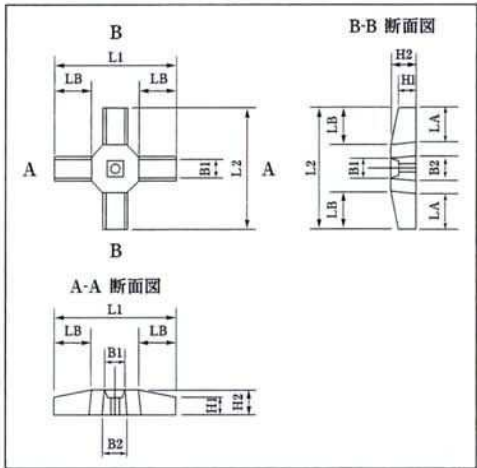


クロスタイプ

■ クロスタイプとフリーフレームの汎用例



■ クロスタイプ構造図



■ クロスタイプ標準規格

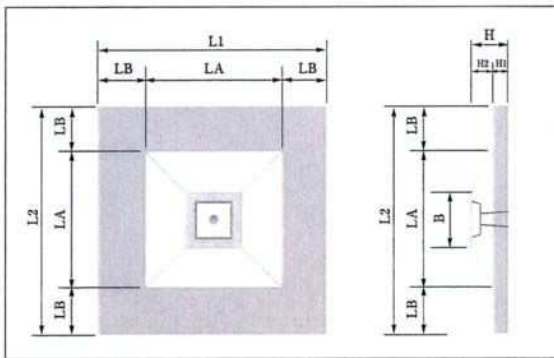
タイプ	設計荷重 (kN)	L1 (mm)	L2 (mm)	LA (mm)	LB (mm)	B1 (mm)	B2 (mm)	H1 (mm)	H2 (mm)	参考質量 (kg)	受圧面積 (㎡)
T- 20-200	200.0	1,900	1,900	440	450	400	448	355	400	1,535	1.665
T- 20-250	200.0	2,400	2,400	690	700	400	448	330	400	1,895	2.113
T- 20-300	200.0	2,900	2,900	940	950	400	448	305	400	2,235	2.561
T- 30-200	300.0	1,900	1,900	440	450	400	448	355	400	1,535	1.665
T- 30-250	300.0	2,400	2,400	690	700	400	448	330	400	1,895	2.113
T- 30-300	300.0	2,900	2,900	940	950	400	448	305	400	2,235	2.561
T- 40-200	400.0	1,900	1,900	440	450	400	448	355	400	1,535	1.665
T- 40-250	400.0	2,400	2,400	690	700	400	448	330	400	1,895	2.113
T- 40-300	400.0	2,900	2,900	940	950	400	448	305	400	2,235	2.561
T- 50-200	500.0	1,900	1,900	438	450	400	460	410	500	1,900	1.695
T- 50-250	500.0	2,400	2,400	688	700	400	460	360	500	2,320	2.155
T- 50-300	500.0	2,900	2,900	938	950	400	460	310	500	2,660	2.615
T- 70-200	700.0	1,900	1,900	438	450	400	460	410	500	1,900	1.695
T- 70-250	700.0	2,400	2,400	688	700	400	460	360	500	2,320	2.155
T- 70-300	700.0	2,900	2,900	938	950	400	460	310	500	2,660	2.615
T-100-200	1,000.0	1,900	1,900	435	450	400	472	510	600	2,310	1.726
T-100-250	1,000.0	2,400	2,400	685	700	400	472	460	600	2,820	2.198
T-100-300	1,000.0	2,900	2,900	935	950	400	472	410	600	3,300	2.670

スクエアタイプ

■ スクエアタイプ使用例



■ スクエア構造図

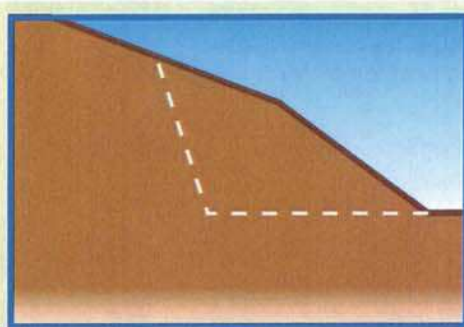


■ スクエアタイプ標準規格

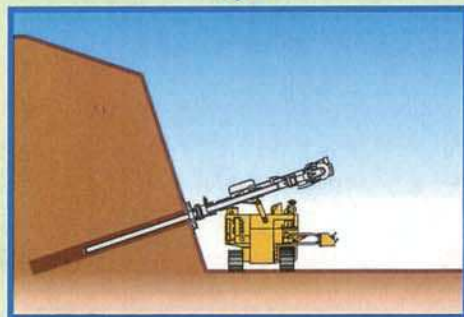
タイプ	設計荷重 (kN)	L1 (mm)	L2 (mm)	LA (mm)	LB (mm)	B (mm)	H (mm)	H1 (mm)	H2 (mm)	参考質量 (kg)	受圧面積 (㎡)
S- 30-200	300.0	1,900	1,900	1,500	200	600	400	175	225	2,110	3.610
S- 30-250	300.0	2,400	2,400	1,500	450	600	400	175	225	3,015	5.760
S- 30-300	300.0	2,900	2,900	1,500	700	600	400	175	225	4,125	8.410
S- 50-200	500.0	1,900	1,900	1,500	200	600	450	175	275	2,250	3.610
S- 50-250	500.0	2,400	2,400	1,500	450	600	450	175	275	3,155	5.760
S- 50-300	500.0	2,900	2,900	1,500	700	600	450	175	275	4,240	8.410
S- 70-200	700.0	1,900	1,900	1,900	0	600	500	198	302	2,900	3.610
S- 70-250	700.0	2,400	2,400	2,000	200	600	500	175	325	3,815	5.760
S- 70-300	700.0	2,900	2,900	2,000	450	600	500	175	325	4,900	8.410
S-100-200	1,000.0	1,900	1,900	1,900	0	600	600	251	349	3,550	3.610
S-100-250	1,000.0	2,400	2,400	2,000	200	600	600	225	375	4,725	5.760
S-100-300	1,000.0	2,900	2,900	2,000	450	600	600	225	375	6,150	8.410

✦ 施工手順

アンカー打設完了後、RCクロアブロックを据付る場合の施工手順は次のようになります。

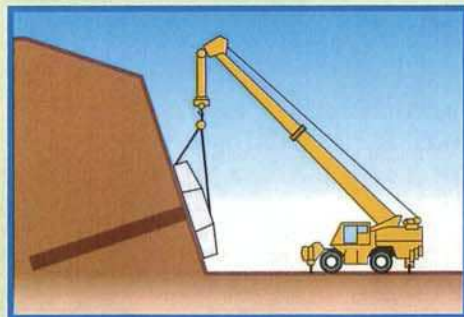


① 地山掘削



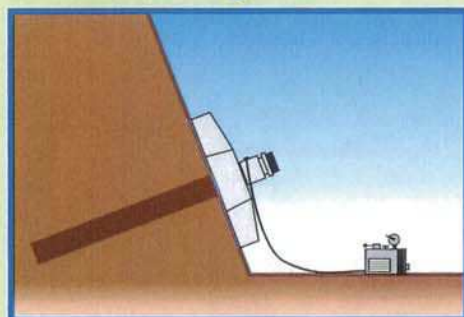
② アンカー打設

アンカーの削孔・注入・挿入を行います。



③ RCクロアブロックの据付け

グラウト材の硬化を確認後、RCクロアブロックの据付けを行います。地山の凸凹が激しい場合にはモルタル吹付等の下地処理を行います。



④ アンカーの緊張定着および頭部処理

アンカーは品質保証試験等の試験実施後、所定の荷重で定着します。最後に防錆キャップ等で頭部処理を行い施工を完了します。